

公正な取引に向けて

お取引先様を含めたバリューチェーン全体で、公正な取引の実現を目指しています。



◆ 基本的な考え方

日本光電では、健全・公正な購買活動を行うとともに、お取引先様を含めたバリューチェーン全体での公正な取引の実現を目指しています。公正な取引の実現に向けて、社内教育の実施、お取引先様との関係強化などに取り組んでいます。

◆ 調達方針・基準

日本光電の調達に関する姿勢を広く社内外に周知し、浸透させることを目的に、「日本光電調達方針」「日本光電CSR調達基準」を2013年に策定しました。「日本光電調達方針」は、日本光電の調達に関する基本方針を示しています。また、「日本光電CSR調達基準」は、日本光電がお取引先様に期待するCSRに関する遵守事項を示しています。

日本光電調達方針

グローバルな成長を目指し当社が進めている企業の社会的責任への取組みとして、お取引先様とのパートナーシップを大切に、以下の方針に従い、誠実な調達活動を行います。

- 1 取引を行うにあたり、関連する法令・社会規範等を遵守します。
- 2 取引を通じて得た秘密情報・個人情報は、適切に管理・保護します。
- 3 信頼関係の構築に努め、公平・公正な調達活動を行います。
- 4 お客様のニーズに応えるため、適正なQCD（優良な品質、適正なコスト、確実な供給）を求めます。
- 5 地球環境への負荷低減に努め、別途定めるグリーン調達ガイドライン（※P24参照）に基づいた調達活動を行います。

◆ 「日本光電CSR調達基準」遵守に向けて

全従業員を対象としたコンプライアンス教育の中で、公正競争規約や下請法等の理解と遵守の促進を行うとともに、お取引先様とも相互にコミュニケーションを図りながら「日本光電CSR調達基準」への理解と対応をお願いしています。環境や品質への取組みについて自己評価をお願いするとともに、3年ごとに実施している「CSRへの取り組みアンケート」の中で、「法令遵守・公正な事業慣行」「人権」「品質」「環境」「情報管理」「CSR推進」等に回答していただくことで、日本光電のCSR調達基準に

関する認識と遵守状況を確認しています。また、アンケートを通していただいたご意見は、調達部門へフィードバックし、公正で責任ある調達の実現に向けて活用しています。

日本光電CSR調達基準

1. 法令遵守・公正な事業慣行

- 1 会社法、独占禁止法、下請法や労働関連法規、環境関連法規など事業活動に適用される法令・条例・政府通達を遵守する。
- 2 輸出入関連法規と事業活動を行う国・地域の法令を遵守する。
- 3 特許権・著作権・商標権等の知的財産権を侵害しない。
- 4 不適切な個人的利益供与や受領を行わない。
- 5 反社会的個人・団体との取引を行わない。

2. 人権

- 6 一人ひとりの人権を尊重し、従業員の処遇・雇用にあたり、不当な差別を行わない。
- 7 児童労働・強制労働を行わない。

3. 品質

- 8 各国・地域の安全規格や規制を遵守する。
- 9 お客様のニーズにお応えするため、品質維持と向上に努め、当社の要求水準を満たした品質保証体制の構築に努める。

4. 環境

- 10 地球環境に配慮したグリーン調達を推進し、製品のライフサイクルを通じた環境への負荷低減に努める。

5. 情報の管理

- 11 取引を通じて得た秘密情報・個人情報は、適切に管理・保護する。

◆ 品質維持と向上への取り組み

お客様のご要望にお応えできるよう、調達する部品・材料の品質維持・向上に取り組んでいます。新規のお取引先様については、品質マネジメントシステムの適切な運用を確認するための監査にご協力をいただいています。既存のお取引先様については、定期的な運用調査にご協力をいただくとともに、納入部品の品質に応じて品質監査を行っています。納入部品の品質が最終製品の品質に大きな影響を与えることをお取引先様にもご理解いただくことを通じて、さらなる品質向上に努めています。

日本光電の地域貢献

地域社会の一員として、文化や習慣を尊重した積極的な地域貢献を通じて、よき企業市民を目指しています。



◆ 日本光電アメリカ ボランティアデー

日本光電アメリカでは、社会貢献活動の一環として、社員が地域のNPO活動に参加する機会を設けています。2016年10月にはボランティアデーを開催し、100名を超える従業員が、地域の3つのNPO（Blind Children Organization、American Heart Association、Second Harvest Food Bank）のボランティア活動に参加しました。

また、2016年12月には、日本光電アメリカおよびNKUSラボの社員が、地域のNPOであるBoys and Girls Club of Orange Countyのチャリティ活動に参加し、低所得や犯罪が多い地域に住む子供たちに、社員が組み立てた自転車をプレゼントしました。

日本光電は国際社会における企業市民としての責任を自覚し、各国・地域の文化や習慣を尊重するとともに、社会貢献活動に取り組むことが企業の社会的責任の一部であると考えています。今後も、より良い社会づくりに積極的に取り組み続けます。



Boys and Girls Club of Orange Countyのチャリティ活動

◆ 社員による社会貢献

● バックアップ制度

社員による青年海外協力隊への参加をバックアップする制度、骨髄移植やボランティアのための休暇制度など、企業の立場、個人の立場両面から積極的に社会貢献に取り組んでいます。

● 地域の清掃活動への参加

日本光電富岡では、3拠点ある工場周辺の道路清掃や落ち葉清掃、収集ボランティア活動など様々な社会貢献活動を行っています。清掃活動は、始業開始前の朝の1時間を使い、年6回計画して実施しています。世界遺産である富岡製糸場内のクリーンボランティアにも参画し、富岡製糸場の方からは、「アレルギーの方への配慮で除草剤が撒けず、人の手で地道に維持管理しているので、大変助かりました」と感謝の言葉をいただいています。また地域のイベントにも積極的に参加し、地域住民との交流を図っています。



富岡製糸場内のクリーン清掃



富岡どんとまつり